



緑地工学コースが「森林生態系に関する講演会」に参加しました

目的 環境緑地科 緑地工学コースでは「森林・林業」に関する学習を行っています。実は森林は地球温暖化の緩和・水資源の貯留・災害の防止など私たちの生活に欠かせない役割を担っています。しかし、人と森林との結びつきの変化などを背景にさまざまな問題が発生し、その役割が十分に発揮できない状況があることも事実です。そんな問題にどう立ち向かっているのか、今回は大学教授の先生をお招きし「持続可能な森林管理」について講演をいただきました。

日時 平成31年2月21日(木) 9:00 ~ 10:50

場所 本校 視聴覚教室

講師 新潟大学農学部 教授 箕口 秀夫 様

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050

演題 森林生態系に関すること



講演の様子①

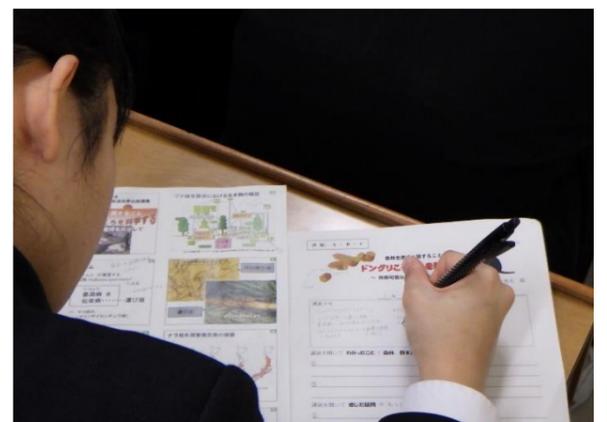
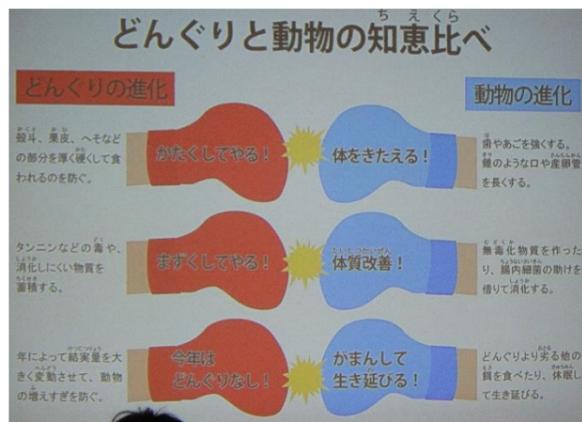
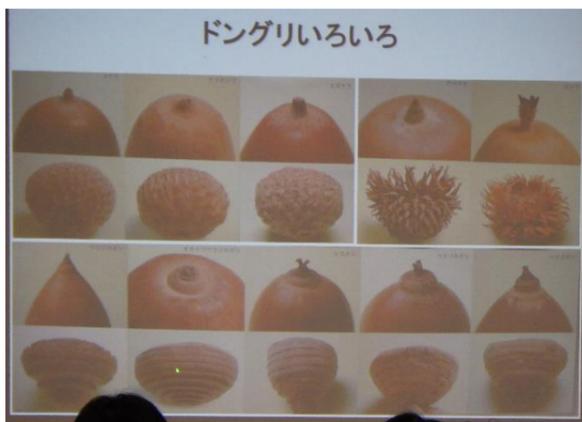
ドングリころころを科学する 持続可能な森林管理を目指して

対象生 緑地工学コース 1年生22名、2年生18名

生徒の感想 ○野ネズミによるドングリの森再生についての研究（散布距離や埋土深など）に驚いた。

○動画があつて楽しかったし、映っていた動物たちが可愛かった。野ネズミの働きはすごい。

○5mmにも満たない虫が大きなナラの木を枯らしていることを知った。



講演の様子②

成果 工夫されたプレゼンに加え、臨場感のある動画が組み込まれていたことで、生徒が引き込まれ授業に集中して参加していた。講演の実施により森林・林業が身近な存在であることが意識された、思いもよらない研究内容が大学への興味・関心につながった。

今後の課題 講習や講演における内容を授業の中でも振り返りを行い、森林・林業への興味・関心と理解を深め、関連産業や大学等などの進路希望先へと繋げていく必要がある。

講師の助言 野生動物の生態を詳しく知ることで森林被害の解決の糸口となる。

広い視野を持ち、物事を考え、行動していくことが大切である。